

1 市の概要（H30年度）

人口	187,751人
保護率	1.7 %

2 支援状況調査（H30年度）

新規相談受付件数人口10万人当たり (件) 一月当たり	22.6
プラン作成件数人口10万人当たり (件) 一月当たり	6.8
就労支援対象者数人口10万人当たり (件) 一月当たり	3.7
就労・増収率(%)	57.8

4 事業実績（H30年度）

	学習支援 利用者	居場所 利用者	個別支援 利用者	新規利 用者	進路決 定者	のべ来所 回数
生活 保護 世帯	小：6人 中：10人 高：17人	小：0人 中：1人 高：1人	小：2人 中：0人 高：2人	小：3人 中：0人 高：1人	小：0人 中：1人 高：6人	小：348回 中：591回 高：142回
生活 困窮 世帯	小：4人 中：8人 高：2人	小：1人 中：1人 高：2人	小：0人 中：0人 高：0人	小：2人 中：3人 高：1人	小：0人 中：3人 高：0人	小：404回 中：623回 高：104回

※新規利用者は学習支援・居場所・個別支援の合計人数

※進路決定者は高校合格者・大学及び専門学校合格者・就職決定者の合計人数

3 実施方法について

実施方法	委託（単年度随意契約）
事業費	13,942千円（平成30年度）
理由 (委託)	平成21年度から、生活保護受給家庭の子どもを対象として、学習支援を委託して成果を上げてきた実績があるため、同法人に引続きお願いすることとした。不登校・ひきこもり状態の子どもへの支援も充実している。
課題・ 対応	居場所・学習塾の両方ともに、市内に1か所しか拠点を持っていないために、市内全域に対するフォローが難しい。
事業概要	<p>○事業対象：小学生・中学生・高校生～若年層（40歳未満）とその保護者。</p> <p>○人員配置：学習支援員(相談支援員を含む)…3名、不登校の居場所支援員…2名、学生アルバイト(学習ボランティア)…多数。</p> <p>○教科学習だけではなく、様々な学習活動を軸とすることで働くことを見据えたキャリア教育を実施している。</p> <p>○日常の関係性からはじまる信頼関係を基礎とし、子どもたちの生活状況の把握や、必要な専門機関へのつなぎを行っている。</p>

5 事業実施のポイント ～発達の契機となる総合的な学習活動～

- サマーキャンプ・お米作り農業体験・冒険旅行・進級進学を祝う会などの取り組みを子ども達の発達の契機として重視している。
- 不登校やひきこもり状態にある子どもには、日中の学習・活動・交流の場を保障している。



6 取り組んで良かったこと

- 一人ひとりが、自分の人生や進路を自分でつくっていくようになってきている。
- 高校卒業後もボランティアとして関わり続け、後輩達のモデルとなる若者たちが生まれている。
- 受託法人が別事業で展開している中間就労の事業所や若者支援事業ともつながってきている。